

2025年01月 現在

Fujitsu Software

Interstage List Works Enterprise Extended Edition for 大規模 V11.0.0

本商品は、様々なプラットフォームから出力された帳票を電子化して一元管理し、帳票の有効活用を実現するソフトウェアです。電子帳票の仕分けから保存、管理、流通、活用まで、インターネット環境での帳票管理基盤を提供し、セキュリティ対策と情報共有環境を備え、業務の効率化を実現します。加えて、大規模システム、高信頼性の機能を提供します。帳票データを複数のサーバで共有することで、帳票量や利用者数に応じてスケーラブルにサーバを拡張でき、サーバの負荷分散を可能にします。また、1台のサーバが故障しても、ほかのサーバに接続して業務を継続できます。

本Editionは、Interstage List Worksの特定用途向けのエディションとして、電子保管機能を超大規模な環境で安定的に運用するサービスを提供します。

- ・ **サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ **クライアント**

マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV

- ・ サーバ

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

- ・ クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10

1. 特長

- (1) 現行印刷(JEF) でご使用のすべての文字種が使用できます。
- (2) 帳票データの流通が容易になります。
- (3) Linux サーバのアプリケーションが出力する帳票を登録できます。(NetCOBOL, MeFt, Interstage List Creator のいずれか必要)
- (4) Web クライアントから帳票資源にアクセスできます。(Web連携機能)

2. クラスタ対応

リスト管理サーバにトラブルが発生した場合にサーバの切り換えを行うことができ、サービスの稼働率を高めることができます。
常時運用が求められるシステムに最適です。

3. 帳票仕分け機能

帳票を登録する際に、帳票を仕分けすることができます。帳票の仕分けでは、帳票の分割などを行うことができます。

4. クライアント機能

(1) 帳票一覧機能

分かり易い日本語で、利用権を持つ帳票のみを一覧で表示します。

(2) 帳票リアル表示機能

- ・ 図形メディア、KOL6形式オーバーレイが利用できます。
- ・ オーバレイパターンの表示/非表示、カラー定義、原点位置調整などができます。

(3) 帳票印刷機能

特定ページのみ印刷、縮小印刷、印刷状態の監視を行うことができます。

(4) 帳票データ編集機能

帳票データをテキスト形式やCSV 形式などに出力できます。

(5) 帳票データ検索機能

帳票の中から指定した文字列、数値、日付、条件の項目データを検索できます。
検索結果を帳票形式で表示することもできます(二次帳票)。

(6) 帳票入力機能

メモ、付せん、ラインマーク、チェックマークなどを帳票に記入できます。

(7) カスタマイズ機能

クライアント機能を制御するオートメーションメソッドを提供しています。

(8) Web 連携機能

- ・ Web クライアントから帳票資源にアクセスできます。(Webゲートウェイ機能を利用)
- ・ 帳票の管理情報や帳票内の文字列による帳票の検索ができます。
- ・ 帳票一覧から複数帳票の一括印刷ができます。
- ・ 検索条件と記入情報の保存/再利用ができます。

5. アクセス管理

以下の方法により、サーバ上のフォルダ/帳票に対して、きめ細やかなアクセス権管理を行うことができます。

(1) 帳票の登録時に設定するアクセス権管理

帳票の登録時に、帳票に対する操作権限を、ユーザ/グループ単位で設定することができます。

(2) 管理者ツールを使用して設定するアクセス権の管理

管理者ツールを使用して保管フォルダ、および保管フォルダに格納されている帳票に対するアクセス権の管理作業（フォルダの作成/削除や記入、印刷、データ連携などの機能ごとにアクセス権を設定）を行うことができます。

また、管理者ツールではアクセス権のインポート/エクスポート機能をサポートしているため、アクセス権の一括設定機能をフォルダの移動・複写・変更機能と併用することで、組織変更への対応が更に容易になります。

6. セキュリティ機能

以下の対応により、帳票操作による証跡を残せるようになります。

- ・ 操作ログへの出力
- ・ 操作ログの改ざん検知
- ・ 操作ログの分析ツール(サンプル)
- ・ 印刷物に対して、印刷者のID出力・記入情報の有無を印刷（ID印刷）（注）

注：ID印刷（印刷者のユーザIDや印刷日時、記入情報の有無）の印刷有無は、帳票登録時に帳票情報で設定します。登録済みの帳票に対して、ID印刷の印刷有無は変更できません。

7. 大規模システム対応

共有ディスクを利用した資源の一元管理や、クライアント数の増加による負荷分散など大規模システムに対応できます。

(1) 各サーバは独立して帳票を処理する構造のため、将来の帳票の処理量や業務拡大に応じてスケーラブルな拡張が容易にできます。

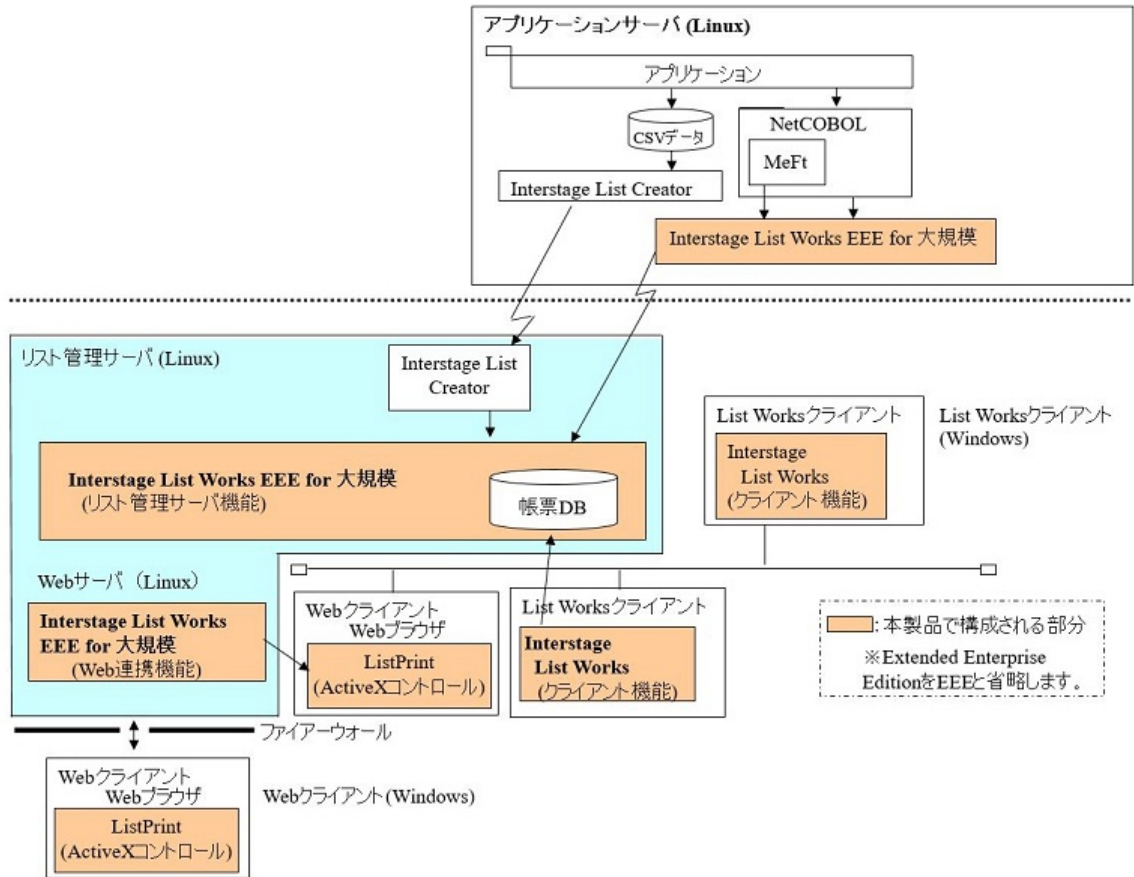
(2) 複数のサーバ機能間で保管フォルダを共有できるため、一部のサーバシステムがダウンしても縮退運転による業務の続行が可能です。

(3) フォルダの共有運用で最大10台（ただし、PRIMECLUSTER連携する場合は2台）まで運用が可能です。

(4) 帳票登録の性能の向上により、大量な帳票を快適に運用できます。

(5) 参照有効期限を設定することができるため、長期保管運用において、利用者の利便性を損なわずに運用ができます。

(6) 複数の帳票を結合して1つの帳票として管理 / 操作できるため、ページ数が大量な帳票でも快適に運用ができます。



新商品のためありません。

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ マニュアル体系と読み方
 - ・ リリース情報
 - ・ 解説書
 - ・ インストールガイド
 - ・ セットアップガイド
 - ・ 設計・運用ガイド
 - ・ 操作ガイド List Worksクライアント編
 - ・ 操作ガイド Webクライアント編
 - ・ 帳票仕分けガイド
 - ・ コマンドリファレンス
 - ・ APIリファレンス
 - ・ ダイアログボックスリファレンス
 - ・ メッセージ集
 - ・ 用語集
 - ・ 帳票保管活用機能 トラブルシューティング

【メディア】

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for 大規模 メディアパック (64bit) V11

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for 大規模 プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for 大規模 プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低 1 本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。

（お客様からのご要求が必要です。）

4. クラスタシステム（1:1運用待機形態）運用時の購入方法

2ノードを1システムと考えると、1システムに本商品を1本購入することで使用することができます。

5. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. オープン帳票を登録する場合

オープン帳票を登録する場合は、以下のどれかの製品が必要です。

- NetCOBOL V13
- Interstage List Creator Enterprise Edition V11.1.0
- MeFt V13(注1)

注1：NetCOBOL製品に添付されているMeFtをご利用ください。

2. 外字を扱う場合

外字を扱う場合は、リスト管理サーバに以下の製品が必要です。(注1)(注2)(注3)

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10

注1：List Worksサーバとは別にデータベースサーバを構築する場合は、データベースサーバ側にも必要です。

注2：List Worksサーバとは別にWebゲートウェイサーバを構築する場合は、Webゲートウェイサーバ側にも必要です。

注3：帳票仕分け管理機能を利用して、帳票を他サーバに仕分ける場合、配信先のサーバ側にも必要です。

3. 利用者定義文字を使用する場合

利用者定義文字を使用する場合は、アプリケーションサーバに以下の製品が必要です。

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10

4. 外字を文字コードとして使用する場合

外字を文字コードとして使用した帳票を運用する場合は、以下の製品が必要です。

- Windows版 Interstage Charset Manager Standard Edition V10 (注1)

また、明朝体の外字作成時は、以下の製品が必要です。

- JEF拡張漢字サポート(明朝体の外字作成時に必要)

外字には、JEF第1水準/第2水準の旧字体、シフトJISコードのベンダ固有文字/利用者定義文字が含まれます。

注1：Interstage Charset Managerの資源管理サーバに必要です。

5. PDF変換機能を使用する場合

PDF変換機能(注1)を使用する場合は、以下の製品が必要です。

- Interstage List Creator Enterprise Edition V11.1.0

注1：以下の機能が該当します。

- PDF変換コマンド
- サーバ機能APIのLW_CreatePDFFile(帳票のPDF変換)
- サーバ機能APIのLW_CreatePDFFileEx(帳票のPDF変換(セキュリティ情報指定))
- PDFメール配信
- WebクライアントからPDF保存/表示する機能

6. 二次帳票の生成を行う場合

二次帳票の生成を行う場合は、二次帳票に対応している以下の製品が必要です。

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V11.1.0

7. NetCOBOLの出力帳票を電子化する場合

NetCOBOLの出力帳票を電子化する場合は、以下の製品が必要です。

- ・ NetCOBOL V13

8. クラスタ構成、フォルダの共有運用の場合

クラスタ構成、または、より高信頼なフォルダの共有運用を行う場合は、以下の製品が必要です。

- ・ PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.6A10以降
- ・ PRIMECLUSTER HA Server 4.6A10以降

なお、Oracle Databaseをクラスタ環境で使用する場合には、上記に加えて以下の製品が必要です。

- ・ PRIMECLUSTER Wizard For Oracle 4.6A00以降

9. List Worksクライアントを使用する場合

List Worksクライアントを使用する場合は、以下の製品が必要です。

- ・ 外字を文字コードとして利用する場合
Interstage Charset Managerクライアント V10.0.0以降
- ・ JEF拡張漢字を文字コードとして利用する場合
JEF拡張漢字サポート V9.3以降
注：WSMGRを導入している場合は不要です。
- ・ マニュアルを参照する場合
Adobe Acrobat DC以降

10. Webクライアントを使用する場合

Webクライアントを使用する場合は、以下の製品が必要です。

- ・ Microsoft Edge Internet Explorerモード

なお、上記以外でWebクライアントに必要な製品を以下に示します。

- ・ PDF形式で帳票を表示する場合
Adobe Acrobat

バージョンレベルは、使用しているInterstage List Creator Enterprise Editionが保存したPDFファイルを参照するときに必要なAdobe Acrobatに従います。

- ・ マニュアルを参照する場合
Adobe Acrobat DC以降
- ・ 利用者定義文字をWebクライアントで文字コードとして利用する場合
Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.0以降
- ・ JEF拡張漢字をWebクライアントで利用する場合
JEF拡張漢字サポートV9.3以降

11. リスト管理サーバと別にWebゲートウェイサーバを構築する場合

リスト管理サーバと別にWebゲートウェイサーバを構築する場合は、以下のどちらか製品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0以降
- ・ Interstage Business Application Server Enterprise Edition V13.0.0以降

なお、List Worksは、Interstage Application Serverのセッションリカバリ機能およびWebサーバを経由しないJakarta EEの運用形態には対応していません。

12. リスト管理サーバと別にデータベースサーバを構築する場合

リスト管理サーバと別にデータベースサーバを構築する場合、以下のどれかの製品が必要です（注1）。

- Symfoware Server Enterprise Extended Edition (Nativeインタフェース) V12.6.0以降
- Symfoware Server Enterprise Edition (Nativeインタフェース) V12.6.0以降
- Oracle Database Enterprise Edition 19c
- Oracle Database Standard Edition 2 19c

注1：リスト管理サーバ側には、Symfoware ServerまたはOracle Databaseのクライアントをインストールする必要があります。

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

2. Windows デスクトップOS(64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- ・ Windows 10(64-bit)
- ・ Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. クラスタ運用について

(1) サポートするクラスタシステムは、以下のとおりです。(注)

PRIMECLUSTER 4.6A10以降

(2) 運用待機形態をサポートします。(1:1運用形態)

(3) 保管フォルダに格納された帳票がクラスタ運用の対象となります。

(4) 帳票の受信、印刷時のフェイルオーバーが発生した場合は、クラスタ運用の対象外となります。また、Web連携もクラスタ運用の対象外となります。

注：使用するOSに合ったバージョン・レベルを選択してください。

4. IPv6環境での運用について

以下のコンポーネント間でのIPv6通信が可能です。

- ・ リスト管理サーバ(帳票仕分け管理も含む) (注1)
- ・ Web連携(Webゲートウェイサーバ(注1)、Webクライアント)
- ・ 帳票データ転送アダプタ
- ・ List Worksクライアント(注2)

注1：リスト管理サーバおよびWebゲートウェイサーバは、IPv4/IPv6デュアルスタック環境で運用してください(IPv6のみの環境には、対応していません)。

注2：List Worksクライアントで帳票エントリファイルを受信して、帳票を表示する場合は、IPv4/IPv6デュアルスタック環境で運用してください(IPv6のみの環境には、対応していません)。

5. JIS2004コード系の注意事項

JIS2004で新たに追加された文字は、帳票に表示される印刷データの文字については、ビットマップで表示されます。ただし、帳票名や作成者名など、List Worksの管理情報やGUI操作時は、使用できません。

JIS2004は従来のフォント(JIS90)と比較して、字形が変更される文字や新しく追加される文字があります。これらの文字の詳細および対処方法については、Microsoft社のホームページでご確認ください。

JIS2004対応により 以下の影響があります。

・帳票およびオーバーレイで字形が変更された文字が含まれていた場合、Windows 10およびWindows 11で帳票を表示した結果と、Windows XPおよびWindows Server 2003で帳票を表示した結果が異なります。

6. インストールについて

本製品の提供媒体にはDVDが含まれます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は別途手配が必要です。

なお、DVDドライブユニットが搭載できない場合は、以下の方法でインストールしてください。

DVDドライブユニットが搭載されているサーバ（PRIMEQUEST、PRIMERGY等）のDVDドライブをNFSにてマウントし、ネットワーク経由でインストールしてください。

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通(Interstage List Works)**

本商品の詳細は、以下のInterstage List Worksホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listworks/>

- ・ **ソフトウェア：富士通(ソフトウェアの一覧表(システム構成図)と各種対応状況)**

価格/型名の一覧(システム構成図)を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration>

- ・ **ソフトウェア：富士通(インフォメーション&ダウンロード)**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>